

冬休みは お家でぬくぬく練習法！

～コタツで音楽知識の勉強をしよう～

季節は冬本番を迎えましたが、みなさまは年末年始いかがお過ごしですか？
外に出るのは寒くておっくう！——そんなときはコタツに入って音楽知識の勉強が一番です♪ 備えあれば憂いなし。絶対役に立つ音楽知識mini辞典！
どうぞご覧ください♪

MENU

楽譜の各種名称	6
音部記号／小節線／五線／拍子	
音符の名称	7
音名・階名	8
音符の種類／シャープ、フラット	
楽譜の見方	9
反復記号	
調性	10
吹奏楽楽譜で、よく出てくる奏法指示記号	11
強弱記号・速度用語	12
強弱記号／音楽記号、発想用語	



楽譜の 各種名称

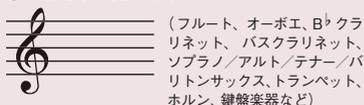
楽譜は、色々な部品が合体して完成しています。曲や演奏楽器によって数ある部品から組み合わせられ構成されていくので、まずはその部品の各名称、役割を見ていきましょう。

1 音部記号

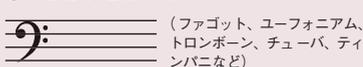
楽譜の頭に「ト音記号」が書かれているのをよく目にしますが、その指示記号のことを「音部記号」と呼びます。よく使われる音部記号は2種類あります。

Study!

① ト音記号：高音部譜表

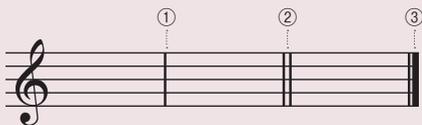


② ヘ音記号：低音部譜表



2 小節線

長い曲の楽譜には必ず「小節線」というものがあります。単に線といっても全部で3種類あります。線で区切って「1小節、2小節……」と小節数があることによって、目印になるという利点もあります。



Study!

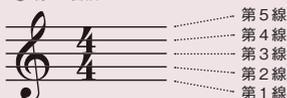
- ① 縦線(じゅうせん) ……小節を区切るときに使われる線のこと
- ② 複縦線(ふくじゅうせん) ……フレーズや転調など、曲の雰囲気が変わる時に使われる線のこと
- ③ 終止線……曲の終わりに使われる線のこと

3 五線(ごせん)

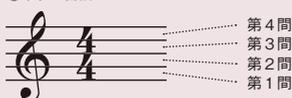
「五線」音符を配置するとき重要な“作文用紙のマス目”のようなものです。ただの線に見えますが、それぞれ名前があり、さらには線と線の間にも名前があるのです。

Study!

① 線の名前

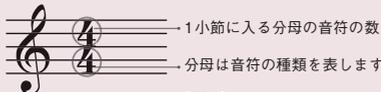


② 間の名前



4 拍子

音楽には必ず、分数のように分母と分子でできた「○拍子」という“曲の全体的な節を表すための指示数字”があり、先述の「音部記号」の隣に位置します。



Study!

- よく登場する拍子…… $\frac{4}{4}$ 拍子、 $\frac{3}{4}$ 拍子、 $\frac{2}{4}$ 拍子、 $\frac{6}{8}$ 拍子、 $\frac{3}{8}$ 拍子等こちらの例だと、「4分音符が1小節に4つ入る拍子=4分の4拍子」となります。
- また、「C」や「♩」などと記述された楽譜もあります。
- C = $\frac{4}{4}$ 拍子【図1】、♩ = $\frac{2}{4}$ 拍子を表します【図2】。

【図1】



【図2】





音符・休符 の名称

さて、楽譜の各部名称をおさえたところで、五線にはめていく
 音符・休符の種類について覚えていきましょう。

音符・休符の種類

吹奏楽曲の楽譜では各6種類ほどの音符・休符が登場します。音符・休符の長さをそれぞれの名前と併せて覚えていきましょう。

Study!

音符比較表

音符の種類	休符の種類	全音符を1とした時の長さ	$\frac{4}{4}$ 拍子の時の拍の長さ
全音符 	全休符 	1	4拍
2分音符 	2分休符 	1/2	2拍
4分音符 	4分休符 	1/4	1拍
8分音符 	8分休符 	1/8	1/2拍
16分音符 	16分休符 	1/16	1/4拍
32分音符 	32分休符 	1/32	1/8拍

音符表

音符	
全音符	
2分音符	
4分音符	
8分音符	
16分音符	
32分音符	

休符表

休符	
全休符	
2分休符	
4分休符	
8分休符	
16分休符	
32分休符	

 +  =  一付点音符は、○音符の**1.5倍**の長さになります。

音名・階名

音の名前と言えば、「ドレミ……」ですよね。この「ドレミ……」とは、日本語じゃないってご存じでしたか？

「ドレミファソラシド」の読み方はイタリア語で、日本語だと「ハニホヘトイロハ」、英語だと「CDEFGABC」、さらにドイツ語だと「ツェーデーエーエフゲーアーハーツェー」となり、国ごとに読み方が違います。

世界の共通言語が英語のように、音名の共通言語は一般的にはドイツ語になります。ですから、ドイツ語の「ドレミ……」つまり「ツェー(C)デー(D)エー(E)……」も併せて覚えておくと良いでしょう。

Study!

音の所属	主音	上主音	中音	下属音	属音	下中音	導音
イタリア語	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
日本語	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ
英語	C(シー)	D(ディー)	E(イー)	F(エフ)	G(ジー)	A(エー)	B(ビー)
ドイツ語	C(ツェー)	D(デー)	E(エー)	F(エフ)	G(ゲー)	A(アー)	H(ハー)

シャープ、フラット

楽譜の五線上には前項目「音名・階名」で登場した音の他に「# (シャープ)」「b (フラット)」という記号付きの音も出てきます。

Study!

(シャープ) : その音を半音高くする

b (フラット) : その音を半音低くする

× (ダブルシャープ) : その音を長2度高くする

♭♭ (ダブルフラット) : その音を長2度低くする

イタリア語	ド#	レ#	ミ#	ファ#	ソ#	ラ#	シ#
日本語	嬰ハ	嬰ニ	嬰ホ	嬰ヘ	嬰ト	嬰イ	嬰ロ
英語	C(シー)#	D(ディー)#	E(イー)#	F(エフ)#	G(ジー)#	A(エー)#	B(ビー)#
ドイツ語	Cis(ツイス)	Dis(ディス)	Eis(エイス)	Fis(フィス)	Gis(ギス)	Ais(アイス)	His(ヒス)

イタリア語	ドb	レb	ミb	ファb	ソb	ラb	シb
日本語	変ハ	変ニ	変ホ	変ヘ	変ト	変イ	変ロ
英語	C(シー)b	D(ディー)b	E(イー)b	F(エフ)b	G(ジー)b	A(エー)b	B(ビー)b
ドイツ語	Ces(ツェス)	Des(デス)	Es(エス)	Fes(フェス)	Ges(ゲス)	As(アス)	B(ベー)

調性	日本語	英語	ドイツ語
表記	長調(ちょうちょう)	Major(メジャー)	Dur(ドゥアー)
表記	短調(たんちょう)	Minor(マイナー)	moll(モール)

One Point Advice

ワンポイントアドバイス **鍵盤を参考にしよう!**





調性

調性の種類は全部でなんと26種類もあります。調性・調号を理解しておく、音階練習がスムーズになる他、ハーモニーを合わせる時にも役立ちます。

調号が同じ長調と短調はセットで覚えておきましょう。

Study!

♯の数	0	1	2	3	4	5	6
長調	ハ長調	ト長調	ニ長調	イ長調	ホ長調	ロ長調	嬰ハ長調
短調 (平行調)	イ短調	ホ短調	ロ短調	嬰ヘ短調	嬰ハ短調	嬰ト短調	嬰ニ短調
記譜 主音は短調・長調の順							
♭の数	0	1	2	3	4	5	6
長調	ハ長調	ヘ長調	変ロ長調	変イ長調	変イ長調	変ニ長調	変ト長調
短調 (平行調)	イ短調	ニ短調	ト短調	ハ短調	ヘ短調	変ロ短調	変ホ短調
記譜 主音は短調・長調の順							

One Point Advice

ワンポイントアドバイス 早く覚える裏ワザ!

調号が1個、2個、3個……と増えていくのには法則があります。その法則を覚えましょう!

※ほとんど使わない

# の場合	ファ	ド	ソ	レ	ラ	ミ	シ
	# が付く順番……………→						

※ほとんど使わない

♭ の場合	シ	ミ	ラ	レ	ソ	ド	ファ
	♭ が付く順番……………→						

楽譜の見方

反復記号

楽譜を見て演奏していると……曲が終わりじゃないのに譜面が終わっている!? 突然切れている!? なんてこと、ありませんか? 最初に戻ったり指示された箇所に移動したりすることによって、曲が繋がるようになっています。

そんな楽譜に直面しても対応できるように、繰り返し記号、反復記号を覚えておきましょう。

Study!

反復記号

- ||: …… || から戻る箇所
- ||: …… || に戻る箇所

1番カッコ、2番カッコ

- 1. ……反復の1回目のみ演奏
- 2. ……反復の2回目のみ演奏

- 2nd time only ……繰り返したあと2回目のみ演奏する
- D.C. (da capo: ダ・カーポ) ……最初に戻る
- D.S. (dal segno: ダル・セーニョ) ……セーニョマークに戻る
- ♯ (セーニョ) ……ダル・セーニョから戻ってくる箇所
- ⌋ Coda (コーダ) ……曲の終盤
- to ⌋ (トゥ・コーダ) ……コーダマークに飛ぶ
- Fine (フィーネ) ……終わり

進行順番例

Study!

Examples of musical notation with performance directions:

- Example 1: A → B → C → D → C → D
- Example 2: A → B → C → B → D
- Example 3: A → B → C → D → A → B
- Example 4: A → B → C → D → B
- Example 5: A → B → C → B → D

A → B → C → D → C → D

A → B → C → B → D

A → B → C → D → A → B

A → B → C → D → B

A → B → C → B → D

吹奏楽曲の楽譜で、よく出てくる奏法指示記号

他、楽器別に吹奏楽楽譜でよく出てくる指示記号の紹介です。

Study!

- ★ (スラー) 音と音を繋げる (同じ音同士を繋いでいる場合は「タイ」になる)
- ★ (スタッカート) その音を短く
- ★ (アクセント) その音を強く
- ★ 4小節休み
- ★ (ゲシュトップフト奏法) ベルの中の右手の入れ加減によって音程を変える奏法 (ホルン)
- ★ (テヌート) その音を音価充分に伸ばして
- ★ (ブレス) ブレスする (息を吸う)
- ★ 前の小節と同じことを奏する省略記号

★ *8va* (オクターバ・アルタ) 記譜された音の1オクターブ上の音で

★ *8vb* (オクターバ・バッサ) 記譜された音の1オクターブ下の音で

★ *a2* 2つの楽器、またはパートと一緒に演奏すること

★ *arco* (アルコ) 弓を使って弾く

★ *ad lib.* (アドリブ) 自由に演奏すること

★ *articulation* (アーティキュレーション) スタッカートやスラーなど、音のニュアンスを出すこと

★ *attacca* (アタッカ) 休むことなく続けて演奏

★ *divisi* (ディヴィジ (略) *div.*) 同じパート内で声部を分けて演奏すること

★ *dynamics* (ダイナミクス) 音量幅

★ *einsatz* (アインザッツ) 音の出だしのこと

★ *Flutter* (フラッター (略) *flt.* / *flz.*) 巻き舌をしながら音を出す奏法

★ *glissando* (グリッサンド) 音と音の間を滑るように演奏すること

★ *growl* (グロウル) 喉を鳴らしながら音を出すこと

★ *G.P.* (ゲネラルパウゼ) 全楽器お休み

★ *L'istesso tempo* (リステッソテンポ) 拍子が変わっても速度は変わらないこと

★ *pitch* (ピッチ) 音程

★ *pizzicato* (ピッチカート (略) *pizz.*) 指で弦を弾いて弾く

★ *tacet* (タチェット) その楽章は終始休み

★ *scale* (スケール) 音階

★ *solo* (ソロ) 独奏

★ *tutti* (トゥッティ) 全員で演奏すること

★ *unison* (ユニゾン (略) *unis.*) 同じメロディを全員で演奏すること

★ *mute* (ミュート) / *con sordino* (コンソルディーノ) / *mit dampfer* (ミットデンプファー) / *with mute* (ウィズミュース)

—————ミュート (弱音器) をつける

★ *open* (オープン) / *senza sordino* (センツァソルディーノ) / *ohne dampfer* (オーネデンプファー) / *mute off* (ミュートオフ)

—————ミュート (弱音器) を外す



強弱記号 速度用語

楽譜でよく目にする“あの記号”や“あの用語”。「どんな意味なんだろう?」と思って調べてみる方も多いかと思いますが、一回一回調べるのは結構大変ですよ。そこで、頻繁に登場する記号だけをまとめて一覧にしました。一覧を参考にしながら楽譜に書き込んでいくと、曲の理解がもっと深まって、演奏にも表情がつけられるようになるでしょう。

強弱記号

- ★ *pp* (ピアノッシモ) 非常に弱く
- ★ *mf* (メゾフォルテ) やや強く
- ★ *sf* / *sfz* (スフォルツァンド、スフォルツァート) その音を特に強く
- ★ *p-f* や *pf* は、1回目は *p*、2回目は *f* で演奏することを表す場合があります
- ★ crescendo (クレッシェンド(略) cresc.) だんだん強く
- ★ diminuendo (ディミヌエンド(略) dim.) だんだん弱く
- ★ un poco (ウンポコ) すこし、やや
- ★ più mosso (ピウモッソ) 今までより速く
- ★ meno mosso (メノモッソ) 今までより遅く
- ★ *p* (ピアノ) 弱く
- ★ *f* (フォルテ) 強く
- ★ *mp* (メゾピアノ) やや弱く
- ★ *ff* (フォルテッシモ) 非常に強く
- ★ *fp* (フォルテピアノ) 強く、すぐ弱く
- ★ decrescendo (デクレッシェンド(略) decresc.) だんだん弱く
- ★ molto (モルト) とても
- ★ poco (ポコ) すこし、やや
- ★ mosso (モッソ) 躍動して
- ★ più (ピウ) より多く
- ★ meno (メノ) より少し
- ★ poco a poco (ポコアポコ) すこしずつ

音楽記号・発想用語

- ★ accelerando (アツチェランド) だんだん速く
- ★ adagio (アダージョ) ゆるやかに
- ★ alla marcia (アラ・マルチア) 行進曲風に
- ★ allegretto (アレグレット) やや速く
- ★ allegro (アレグロ) 速く
- ★ allegro agitato (アレグロ・アジタート) 速く、気ぜわしく、感激して
- ★ amabile (アマビレ) 愛らしく
- ★ andante (アンダンテ) 歩く速さで
- ★ andante cantabile (アンダンテ・カンタービレ) ゆっくりと歌うように
- ★ andante con moto (アンダンテ・コン・モート) 動きをつけて
- ★ animato (アニマート) 生き生きと速く
- ★ appassionato (アパッショナート) 熱情的に
- ★ assai (アッサイ) 非常に
- ★ a tempo (ア・テンポ) もとの速さで
- ★ brillante (ブリランテ) 華やかに
- ★ cadenza (カデンツァ) 華やかで即興的な部分
- ★ cantabile (カンタービレ) 歌うように
- ★ coda (コーダ) 終結部
- ★ con animato (コン・アニマート) 活気を持って、生き生きと
- ★ con brio (コン・ブリオ) 生き生きと
- ★ con fuoco (コン・フオコ) 熱烈に
- ★ con moto (コン・モート) 動きを持って
- ★ dolce (ドルチェ) 優しく、甘く
- ★ espressivo (エスプレッシヴィオ) 表情豊かに
- ★ fuoco (フオコ) 情熱、熱烈
- ★ giocoso (ジョコーソ) おどけて、陽気に
- ★ grandioso (グランディオソ) 壮大に
- ★ grave (グラヴェ) ゆっくり荘厳に
- ★ grazioso (グラツィオーソ) 優雅に
- ★ intermezzo (インテルメッツォ) 間奏曲
- ★ largo (ラルゴ) 幅広く、ゆるやかに
- ★ leggiero (レッジエロ) 軽く
- ★ lento (レント) ゆるやかに
- ★ maestoso (マエストーゾ) 荘厳に、威厳に満ちて
- ★ marcato (マルカート) 一つひとつの音をはっきりと
- ★ misterioso (ミステリオソ) 神秘的に
- ★ moderato (モデラート) 中くらいの速さで
- ★ non tanto (ノン・タント) あまり〜でなく
- ★ non troppo (ノン・トロッポ) はなはだしくなく
- ★ passionato (パッショナート) 情熱的に、熱狂的に
- ★ pastorale (パストラレ) 牧歌的に
- ★ pesante (ペザンテ) 重厚に
- ★ presto (プレスト) とても速く
- ★ rallentando (ラレンタンド) だんだんゆるやかに
- ★ ritardando (リタルダンド) だんだん遅く
- ★ scherzando (スケルツァンド) 戯れるように
- ★ sempre (センプレ) 常に、引き続き
- ★ smorzando (スモルツァンド) だんだん遅く、消えるように
- ★ sostenuto (ソステヌート) 音の長さを十分保って
- ★ sotto voce (ソット・ヴォーチェ) 声をひそめて
- ★ stringendo (ストリンジェンド) だんだんせきこんで
- ★ subito (スビト) すぐに
- ★ tanto (タント) 多く、非常に
- ★ tempo giusto (テンポ・ジュスト) 正しい速さで
- ★ tempo primo / Tempo I (テンポ・プリモ) 最初の速さで
- ★ tempo rubato (テンポ・ルバート) テンポを柔軟に伸縮させて
- ★ vivace (ヴィヴァーチェ) 活発に、速く
- ★ vivo (ヴィーヴォ) 活発に